

氏名	大城 知恵
学位の種類	修士(看護学)
学位記番号	修士第178号
学位授与年月日	平成26年3月10日
学位論文題目	多動の子どもを育てる家族の日常的ケアの工夫

論 文 内 容 要 旨

※整理番号	183	(ふりがな) 氏 名	おおき ともえ 大城 知恵
修士論文題目	多動の子どもを育てる家族の日常的ケアの工夫		
<p>【研究目的】 多動の子どもの日常生活の自立に向けた家族の援助方法や対応の工夫を明らかにすることである。</p> <p>【研究方法】 研究デザイン : 質的帰納的研究 研究対象者 : 多動で学齢期の子どもを育てる養育者 8 名 データ収集方法 : 面接を 2013 年 8 月～9 月にかけて行った。 (承認番号 : 25-52、承認日 : 平成25年8月5日)</p> <p>【結果】 研究協力者 8 名の全員より IC レコーダーへの面接内容録音の許可が得られ、面接実施後に逐語録を作成しコード化を行った。分析の結果、715 のコードより、17 のカテゴリー、50 のサブカテゴリーを抽出した。 結果として、【コミュニケーション障害による弊害に混乱】【不安定な知覚の発達による無器用さの出現】【社会的感情的なコントロールが困難】【他者の関心の低さや偏見に落胆】【診断されても消失しない不安】【社会性が身につかないことに危惧】【狭小な環境でストレス回避】【子どもの意思を尊重してケア】【穏やかな対応と称賛で躰】【視覚認知を活用して躰】【常同的、衝動的行動による事故防止を心掛け】【知覚過程の特性に合わせて教育】【母親同士の情報交換を実施】【家族で自閉症の育児を実践】【自由に遊びを手展開して心身の安定を育成】【社会資源の活用で対人関係能力を育成】【健全なアイデンティティの形成を期待】17 つのコードが抽出された。</p> <p>【考察】 多動の子どもをもつ家族の具体的な工夫として以下のことが明らかになった。 子育てに共通する態度は、子どもが解りやすいように声を掛けることである。そして、躰を行うときの態度は、根気よく子どもの意欲を待ち、視覚を生かすことである。日常の中で、何か体験を行う時は、時間と視覚を活用し、好きな物や好きな事を取り入れることである。そして、社会で生きていくために子どもたちが嫌いな事を行うときは、時間と視覚を活用し、無理しすぎないようにし、家族が疲弊しないよう社会資源の活用を行う。</p> <p>【総括】 養育者にインタビューを行った結果、子どもは、コミュニケーション障害による弊害に混乱し、不安定な知覚の発達による無器用さの出現、また社会的感情的なコントロールの困難が見られるため、他者の関心の少くさや偏見に落胆し、診断されても消失しない不安を抱えながら社会性が身につかないことに危惧している。そして、母親は、狭小な環境でストレス回避し、子どもの意思を尊重してケアと穏やかな対応と称賛で躰をし、視覚認知を活用して躰を行い常同的、衝動的行動による事故防止を心掛け、知覚過程の特性に合わせて教育をしている。また、母親同士の情報交換を実施し、自閉症児の育児を實踐して自由に遊びを展開し、心身の安定を育成しながら社会資源の活用で対人関係能力を育成している。</p>			